

前立腺がん検診

前立腺は男性だけが持つ臓器で、近年、日本人も前立腺がんの罹患率が増加しています。前立腺がんの早期発見・早期治療のため検診を行っています。

○対象者は？

55歳から75歳までの奇数年齢に該当する男性

○受診方法は？

「医療機関名簿」から対応している医療機関に直接電話等で連絡してください。

○検査方法は？

PSA検査（血液検査で、血液中の前立腺特異抗原（PSA）の値を調べます。）

○前立腺がんの検査は？

前立腺がんを調べるには、「PSA検査」「経肛門触診」「超音波検査」が有効です。このうち、検診として安全に実施できるのはPSA検査です。しかし、PSAは前立腺がん以外の疾病でも高くなる特徴があるため、PSAが高い場合、泌尿器科専門医療機関を受診し、前立腺がんかどうかを調べるのが大切です。

なお、前立腺がんの中にはPSAが上昇しない「がん」もあるため、PSAが正常範囲内でも、絶対に前立腺がんでないかと判断されたわけではありません。そこで、これからも定期的に受診し、ご自身の健康を確かめるとともに、腰痛、排尿異常など自覚症状のある時は医師に相談しましょう。

<検査結果>

判定区分		基準値
正常範囲内	陰性	4.0 ng/mI 以下
異常値 (要精密)	疑陽性	4.1~10.0 ng/mI
	陽性	10.1 ng/mI 以上

※血液中のPSAが4.0ng/mI以下は「正常範囲内」で、4.1ng/mI以上の場合は精密検査が必要です。

○前立腺ってどんな臓器？

前立腺は、膀胱と直腸の間にあるクルミ大の組織で、精液の一部をつくっています。50歳を過ぎる頃から前立腺の病気が増加します。病気の主なものは「前立腺肥大症」と「前立腺がん」です。

○前立腺の病気の特徴は？

前立腺肥大症は、前立腺の中を通る尿道を圧迫し、狭くするため、「排尿障害」が生じます。

それに比べ、前立腺がんには特徴的な症状がないため、検診により早期発見することが大切です。

○検査の間隔・年齢制限について

一般に前立腺がんの進行は遅いため、2年以上に一度の検査で充分と考えられています。また、PSA検査は、高齢になるとがんだけでなく高い数値があらわれることが多く、問題となることも少ないことから、年齢の上限を75歳までといたしました。